

No	資料名		頁・行等詳細	仕様書の該当記載内容	分類 (意見/質問)	意見/質問内容	意見/質問の理由	回答
1	本体	業務説明資料	P4、4(2)	保守運用スケジュール	質問	仮運用、本運用とはそれぞれ何を示しているのでしょうか？		仮運用は、本環境上で業務システムの本番運用及び本番稼働に向けたユーザーの確認等が行われる以前のフェーズにおいて、監視等のレベルを落とし運用している状態を想定しています。仮運用中においては、構築メンバーにより業務システム側にサービスを提供することを想定しており、運用保守専用の体制を別途用意していただくことは求めません。
2	本体	業務説明資料	P2 7 支払条件・契約スキーム	クラウドサービス提供事業者に対する支払は、受託者が立替払いし、委託者は年度ごとに実額を受託者に支払う。	質問	「委託者は年度ごとに実額を受託者に支払う」について、年度ごと支払いではなく、毎月払いへのご相談は可能でしょうか。また、「実額」について、クラウドサービスの為替影響、サービス価格の変動が発生した場合も含まれている理解でよろしいでしょうか。	支払い条件の変更相談可否および将来の費用変動時等の対応の確認のため。	毎月払いの可否については、受託候補者選定後の交渉となります。実額については、為替影響、サービス価格の変動を含め、クラウドサービスの利用に対する実額となります。
3	別紙1	IaaS環境要件定義書	P2 1.1 IaaS環境の範囲	新財務会計システム及び人事給与システムで使用するIaaS環境を対象とする。	質問	人事給与システムを含む5つのシステムはリージョン内での配置について考慮事項はありますでしょうか。	システム間の分散配置を考慮することで、業務全体の信頼性を高めることができます。 例) Aシステムは、AZ#1にメインサーバ Bシステムは、AZ#3にメインサーバ AZ#2は各システムのサブサーバを配置するなど	各システム間において互いに影響を及ぼさないように、必要最低限の結合(疎結合)を考慮していただきたいと考えています。特にシステムがウイルスに感染した場合に他のシステムに影響が出ないようにするなど、セキュリティ面の考慮が重要となります。
4	別紙1	IaaS環境要件定義書	P3 1.4 IaaS環境の設置場所	リージョン間でのバックアップ運用を行う場合、大規模地震や広域災害に対応できるように、関東圏以北及び関西圏以西にそれぞれ1つずつリージョンを選択できるようにすること。	質問	大阪リージョンは、遠隔地バックアップのみの利用と理解しておりますが、間違いないでしょうか。	大阪リージョンでの業務再開を予定するのであれば、回線の手配、ネットワークの設計が必要となります。	遠隔地バックアップ用のリージョンを用いた稼働は考えていません。
5	別紙1	IaaS環境要件定義書	P24 4.4 セキュリティ要項等	本項の定めのほか、環境管理者及び保守運用者は横浜市情報セキュリティ管理規程及び横浜市情報セキュリティ管理要綱、関連法規を遵守すること。	意見	YCANへの接続に際し、順守すべき仕様や要件があると存じます。詳細はIaaS環境設計(契約後～令和4年10月上旬頃)で決定してはいかでしょうか。	セキュリティ要件として考慮事項と時期を明確化するため。	YCANへの接続は、横浜市情報セキュリティ管理規程並びに横浜市情報セキュリティ管理要綱及び関連法規を順守して進めていただく想定です。なお、IaaS環境要件定義書の記載は、要件定義や設計を進める中で、必要に応じて見直すことを想定しています。
6	別紙1	IaaS環境要件定義書	P27 6.1 IaaS環境のサービスレベル	IaaS環境は24時間365日の連続稼働を実施し、稼働率99.99%以上(年間を通じた停止時間は53分以内)を目標とする。ただし、冗長構成としないシステムのインスタンス及び計画停止並びにAWSクラウド及びアクセス回線サービスの障害に起因する停止時間は除く。加えて、クラウドサービス及び回線サービスのSLAが99.99%を下回る場合は当該サービスのSLA値を上限とする。	質問	システム単位での可用性設定となる理解でよろしいでしょうか。また、稼働率の定義の詳細は、貴市と協議のうえ、IaaS環境設計(契約後～令和4年10月上旬頃)内に決定させていただきたく認識でよろしいでしょうか。	停止時間の計算方法や対象の詳細化が必要と考えるため。	IaaS環境要件定義書6.1(1)は、IaaS環境の連続稼働及び稼働率の目標を定義しています。システム単位での可用性設定は、IaaS環境の稼働率を計算する際にご考慮のほどよろしくお願いいたします。また、稼働率の定義の詳細は、IaaS環境設計において、本市と協議したうえで、決定する想定です。
7	別紙2	想定リソース量	P7 ア 各フェーズ共通(A案)	想定リソース量は以下のとおり。	質問	人事給与システム「ア 各フェーズ共通(A案)」の必要リソースについて、必要開始時期の記載がないため、ご教示ください。	正確な見積積算のため。	2022年9月以降を予定しています。